Seishin Campus 225

おもな記事

・2021 年度入学式式辞
・2021 年度入学式祝辞
　2020 年度入学式について
・新任教員紹介
・2020 年度卒業生の進路状況等
・聖心女子大学マグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞受賞者の言葉
・聖心女子大学での感染症予防の取組について
・自然エネルギー大学リーグに加盟
・BE*hive 展示紹介　など

聖心女子大学
University of the Sacred Heart, Tokyo

2021 年（令和 3 年）6 月 24 日発行

聖心女子大学
2021 年度　入学式

入学式式辞

聖心女子大学学長　髙祖 敏明
KOSO Toshiaki

4 月 3 日（土）　於マリアンホール

キャンパスが花と緑で飾られるこのよき日に、晴れて聖心女子大学に入学された皆様、おめでとうございます。保護者の皆様、ご家族の皆様にも心よりお喜びを申し上げます。

昨年はコロナの感染拡大予防のため、入学式を中止せざるを得なかったのですが、今年は午前と午後の二回に分けて挙行できますことを天の配剤と感謝しております。新入生の皆さんも、この 1 年は予期せぬ状況の中で努力と工夫を重ね、今日の日を迎えられました。心より歓迎します。

新入生の皆さんは、1 年目は全員が基礎課程に属し、総合現代教養科目と基礎課程ゼミを軸にして学び、2 年生に進級する時にそれぞれの学科を決めることになります。皆さんが担うこれからの時代は、超スマート社会と謂われる Society5.0 の予測困難な時代であり、AI の活用、通信技術 5G への進展が見られるなど、生活の便利さや快適さの増大が見込まれる一方、パンデミックや気候変動など「私たちの家」地球環境の不安定化、貧困と格差の拡大、ジェンダーギャップや多くの子供に行き渡らない教育の問題など、多くの難題に直面しています。

皆さんはこうした先行き不透明で、時代の大きな転換期に社会を担うのですが、現代のリベラル・アーツを掲げる本学でじっくりと学び、視野を広げ、体験を積み、友や先生、職員と交わり、自らの世界を地球規模、いや宇宙規模にまで広げていってください。

聖心女子大学が創立以来大事にしているモットーに Ubi caritas, ibi Deus があります。これは聖書に由来するカトリック教会の基本的信条を表すラテン語の言葉ですが、英語で言えば Where love is, there is God、訳せば、「愛のあるところに神がおられる」です。そこには、いくつかの意味が込められています。

今年は東日本大震災から 10 年にあたります。10 年前、大津波で福島の原子力発電所が大きな被害を受け放射能の危険が伝えられた時、日本にいた外国人ジャーナリストの少なからずが日本を脱出し、日本の被害状況について伝聞や想像を交えたニュースを流していました。ところが、日本に残ったひとりの外国人ジャーナリストが、福島の被災地で直接話を聞いて回り、そこで得た正確な情報を外国に発信しました。今、そのジャーナリストは本学の教員としてお務めです。

10 年前のことで、もう一つ心に残っている話があります。3.11 から 1 か月ほどたった、東京のあるコンビニでアルバイトをしていたネパールからの留学生が体験した出来事です。小学生低学年の男の子がお店に入ってきてまっすぐにお菓子売り場に向かいました。100 円玉を握りしめ、目当てのお菓子を見つけてレジにやって来たのですが、レジのすぐ横には、被災地支援の募金を呼びかけるポスターと募金箱が置いてありました。その子はポスターをしばらく眺めたのち、100 円玉を募金箱に入れて、手にしていたお菓子を元の売り場に戻し、コンビニを出て行ったというのです。留学生は、この子どもの行動に心をゆすぶられ、思わず「すごい!」と叫んだといいます。10 年前の小学生低学年といえば、新入生の皆さんとほぼ同じ世代の人の話です。

これら二つのエピソードには、愛という言葉も神という言葉も出て来ません。しかし、そこに私たちは「聖心スピリット」を読み取ることができます。「社会や周囲の人々が必要としていることに敏感に気付き、頭を使い、心を使い、手足を使ってより良い状態を作り出そうとする、そうした心遣いと行動様式を持つ精神」を聖心スピリットと呼んでいるのですが、ジャーナリストと男の子の行動は、まさにこの精神の発揮ではないでしょうか。

本学の初代学長マザー・ブリットは、「社会のどこにあっても灯を、愛の灯を掲げる人でありなさい」と、学生たちに繰り返して語っていました。これは Ubi caritas, ibi Deus を私たちの生活の場に置き替えた言葉なのです。先のジャーナリストも小学生の子も、どこまで自覚していたかは別にして、自らの置かれた場でまさしく愛の灯を掲げる行動をとったと言えます。

コロナ問題の収束が見えず、今年も新たな挑戦が続きます。本学としても様々に工夫し支援をしていきますが、皆さんも工夫を重ね、予測困難な未来に向けて、SDGs の目標の実現に向けてしっかりと学び、新しい日常を作り出すとともに、誰とでも友達になれる地球市民、グローバル共生の知恵を身につけた国際教養人に育っていってください。

今日から始まる新しい生活が、神様の祝福と導きのもと、まずは楽しく充実した学園生活でありますように。そして、皆さんが「社会のどこにあっても灯を、愛の灯を掲げる人」へと大きく育つ学園生活でありますように。こうお祈り申し上げて式辞といたします。

皆様、ご入学おめでとうございます。　（要約）

4 月 3 日(土)新 1 年生入学式にて

聖心女子大学　2021 年度入学 祝辞

聖心女子大学協力会
諸戸精孝会長

皆さんご入学おめでとうございます。

本日この歴史ある聖心女子大学の学生となられたことを心からお祝い申し上げます。

協力会は、聖心女子大学に於ける学生生活がより快適に充実し、学業や部活動に専念出来る様支援する保護者を中心とした後援組織です。

その活動は、図書館の蔵書の購入や、学生食堂への補助、部活動やサークル活動への補助等多岐に渡っております。その協力会を代表して祝辞を申し上げます。

現在皆さんが生活しておられる世界は急速に先を見透かすことが困難な世界になって来ております。価値観は多様化し、旧来の秩序や価値観を否定し、新たな秩序や価値観を作ろうとする試み、それに伴う対立、民族間の対立や宗教による対立、人種差別、環境問題等問題が山積しております。

1 つは新型コロナウィルスによってもたらされた問題です。去年までは世界中ほとんどの国や地域に訪れることが可能であり、その恩恵を経済や文化等色々な所で受けてまいりましたが、コロナ以降、渡航の自由は制限され、日本の国内でも個人の生活、社会のしくみも根底から変化せざるを得ない事態になっております。こうしたなか、私達は新しい秩序と生き方を確立していく必要があります。が、逆に、過去の概念に捕らわれず、新しい発想でこれからの進むべき道を決めることが出来る自由があります。

2 つめの事柄は、女性と男性の平等の問題です。これは先般オリンピック、パラリンピック組織委員会の森前会長の発言を端に発し、社会全般での男女差別の問題が大きく取り上げられ様々な波紋を広げた問題でもあります。本当の女性男性の平等とは、仕事をする上で誰が最も能力があり適任かを決める時に女性、男性の区別無く、本当に適性のあると思われる人が選ばれる社会でなくてはなりません。ある組織では女性の比率が 90%、又別の組織では男性の比率が 90%になってもその選択が性別に関係無く、正しく選考されていれば平等であると言えると思います。

幸い、日本の教育は女性と男性の平等が保たれております。卒業後は、皆さんそれぞれ道は別れると思いますが、どんな場所にあっても必要とされ、選ばれる人になって下さい。

私は Journy of self Discovery と云う言葉を皆さんにお伝えします。これは「自己研鑽への旅」「自己発見への旅」とでも申しますが、大学 4 年間の学びのなかで、自らの視点と価値観を持ち、人々と協調し、社会に貢献出来る人になるべく「自己研鑽」の旅を続ける基礎を作ってください。そしてこの 4 年間の大学の生活を心から楽しみ多くの友人を作り、実りある期間にすることを期待しお祝いの言葉とします。

（要約）

2020 年度新入生の入学式が 1 年越しで行われました

4 月 13 日（火）　於マリアンホール

昨年は新型コロナウイルス感染予防のため開催できなかった入学式が 1 年越しで行われ、新 2 年生は、制服に身を包み、笑顔で参列しました。

入学式は、学長式辞、ロッシーニ「信仰」、宮代会会長祝辞、新入生代表の言葉と続き、最後に全員で校歌を清聴しました。

髙祖敏明学長　式辞

2020 年度に入学された皆さん、1 年遅れですが、ご入学おめでとうございます。

昨年は第 1 回目の緊急事態宣言もあって、COVID-19 感染予防のため入学式を取りやめざるを得ず、この花と緑に恵まれたキャンパスで授業を受け、友達を作り、課外活動に汗を流す機会を提供することも、ままなりませんでした。その点、学長としても誠に申し訳なく、遺憾に思います。

この 1 年は、皆さんにとっても大学にとっても大変な年でした。

本学は昨年 2 月後半に、いち早く「COVID-19 対策本部会議」を立ち上げ、「ひとりも取り残さない」で「学生の学びを止めない」を基本方針に、4 月中旬にはオンライン授業を開始しました。その間、授業評価やアンケートによって、皆さんの意見や要望を、授業の改善、通信環境の整備、学生生活支援などに反映させてきました。

これからはウィズコロナの Society5.0 の時代で、今年も挑戦が続きます。本学としても様々に工夫し支援していきますが、皆さんも工夫を重ね、予測困難な未来に向けて、SDGs の目標の実現に向けてしっかりと学び、3 つの B(Be independent. Be intelligent. Be cooperative.)と繋がる「聖心スピリット」を深めて「新しい日常」を作り出し、グローバル共生の知恵を身につけた地球市民に育って行ってください。

（部分抜粋）

4 月 13 日(火)新 2 年生入学式にて

新任教員紹介

① メッセージ ② 専門分野 ③ おすすめの本

哲学科
佐藤　紀子 専任講師
SATO Noriko

①はじめまして。この 4 月より、哲学科に着任しました佐藤です。かつてわたしも聖心女子大学の学生でした。哲学科の自由な空気のなかでのびのびと学び、シスター方の多様な活動に刺激をうけながら学生時代を過ごしました。伝統ある、そして親しみある母校で、みなさんと一緒に学べることになり、たいへん光栄です。共に学んでまいりたいと思います。よろしくお願いします。

② 西洋近現代哲学、フランス哲学、哲学的・宗教的実践の研究

③ 北條民雄『いのちの初夜』角川文庫、1955 年。

心理学科
平部　正樹 准教授
HIRABE Masaki

①4 月から心理学科に着任しました。私はこれまで、大学で教育や研究を行いながら、医療や学生相談、産業の分野で心理支援の実践を行ってきました。心理支援は、「これが正解」というものにたどり着くことはなく、基本的な知識や考え方を体系的に学んだうえで、対象者にとってよりよい働きかけは何かを考え続けることが必要になります。また、他者を支援するときには、自分のあり方について考えることも重要です。これまで私が学んだり経験したりしたことを皆さんに伝えつつ、皆さんと一緒に私自身も新たな学びを深めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

② 臨床心理学　精神保健学

③ 熊倉伸宏『心の探求―エビデンスと臨床―』誠信書房、2006 年

聖心女子大学同窓会
宮 代 会

日本国内の 6 つの聖心姉妹校の 7 同窓会と共に日本聖心同窓会（JASH）を形成し、世界に広がる 35 ヶ国の聖心姉妹校の同窓会と共に世界聖心同窓会（AMASC）として結ばれています。

宮代会だより

同窓会宮代会は、母校とのつながりを大切に、さまざまな活動を行っております。

【宮代会館】
南門を上がった左手にある会館では、福祉活動をはじめ会報誌の発行、追悼ミサ、宮代祭等行事の運営に、役員、理事を中心に同窓生が携わっております。地下 1 階の事務室では、同窓生スタッフが会員の名簿の管理、会館で行われるお稽古や活動のサポートなどをしております。
様々なジャンルのお稽古は、学生の皆様も参加いただけます。

第 42 回宮代祭は、オンラインで開催いたします。

【宮代ショップ】
大学管理棟 1 階にあるショップでは、文房具、履歴書、ファイルなどの校名入りグッズをはじめ、日用品も揃えております。

【奨学金給付】
毎年、「宮代会奨学金」を博士課程前期 1 年生 1 名に、「宮代会特別奨学金」を大学 4 年生 3 名に給付しております。今後も研究に励む学生を支援し、母校への貢献を続けてまいります。
学生の皆様には、卒業時までに終身会費を納入していただく事で宮代会員としてお迎えすることになります。会員になられると、宮代会館のご利用、会報誌の送付などが受けられます。幹事や理事となって、同窓会活動に幅広くご参加いただくこともできます。

宮代会の活動は、ホームページでご覧になれます。
https://miyashiro-kai.com/

2020 年度 聖心女子大学マグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞受賞者

聖心女子大学マグダレナ・ソフィア・バラ賞は、建学の精神をよく体現し、模範となる学生生活送ったと認められる卒業見込みの学部学生を褒賞するもので、表彰式は卒業式で執り行われました。
2020(令和 2)年度は、次の 4 名です。

英語英文学科　相澤 彩子
（現英語文化コミュニケーション学科）
英語英文学科　白石 あり
（現英語文化コミュニケーション学科）
日本語日本文学科　吉田 直子
教育学科 初等教育学専攻　武貞 充未

聖心会創立者
聖マグダレナ・ソフィア・バラ
(1779-1865)

英語英文学科
相澤 彩子
AIZAWA Ayako

この度はマグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞を拝受致しまして大変光栄に存じます。支えて下さった全ての皆様に御礼申し上げます。

英語英文学科では英語力を磨き、自ら問いを見つけ追究する力を養いました。ASEACCU 国際学生会議、難民支援学生団体 SHRET では、国籍や学年を越えて、皆で協力しながら答えのない課題に向き合ってきました。

視野を狭めずに行動したことで、一見繋がりのないように見える活動においても接点を見出し、新たな知見を得ることができました。今後も聖心での学びを糧に、自らの可能性を狭めることなく精進して参ります。

英語英文学科
白石 あり
SHIRAISHI Ari

この度はマグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞を拝受いたしまして、大変光栄に存じます。
今日まで支えてくださった全ての方に心から感謝を申し上げます。

大学 4 年間では、絵本の研究や日本語教員課程を通して学問の楽しさを知り、豊かな想像力を持って異なるものに繋がり見いだすことの大切さに気が付きました。

ギターアンサンブルクラブや SHRET の課外活動、学寮では沢山の尊敬する友人に出会い、お互いのために祈る喜びを知ることができました。

今後は大学院生として聖心スピリットを忘れず、強くしなやかな人になれるよう精進してまいります。

日本語日本文学科
吉田 直子
YOSHIDA Naoko

この度は名誉ある賞を賜りまして大変光栄に存じます。

聖心女子大学での学びのひとつは、他者の価値観を尊重し合うということです。学業においてだけでなく、課外活動や地域との関わりなど、様々な活動を通じて学ばせていただきました。

誰かのために自分は何ができるのかを内省する力も身につけることができました。

たとえ相手の考えが自分とは異なっていても、否定するのではなく向き合い、理解することが調和に繋がると心に強く残っています。

受賞者として、卒業生としても相応しい女性となれるよう、これからも邁進してまいります。

教育学科
初等教育学専攻
武貞 充未
TAKESADA Ayako

この度は、マグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞を拝受しまして、大変光栄に存じます。

これまで支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

この 4 年間、教育の可能性に魅せられ、国内外の教育を目的としたボランティア活動に精力的に参加しました。活動を通して、正解のない教育の奥深さに触れ、よりよい教育とは何かを考え、追い求め続ける日々を過ごしました。課外活動など多岐に渡って活動し、視野を広げることができ、充実した学生生活となりました。

今後は、これまでの聖心女子大学での学びを活かし、社会に貢献できるよう、努めてまいります。

4 月 3 日(土)　聖心女子大学学長賞授賞式が行われました

聖心女子大学学長賞は、学術研究活動、課外活動、社会活動等で特に顕著な成果を上げた学生または学生団体を褒賞するものです。2020(令和 2)年度受賞団体(学生会役員会、学生有志 5 名、日本語日本文学科 YANG YAZHI(ヨウガチ)さん、聖歌隊)のうち、聖歌隊と YANG YAZHI(ヨウガチ)さんの授賞式が、4 月 3 日(土)入学式で行われました。

受賞者を代表して、聖歌隊が受賞のスピーチを行いました。

聖歌隊の受賞は、新型コロナウイルス感染拡大により、聖堂に集うことが叶わず、学生ミサが中止となる中、前後期、計 7 本の動画の作成、配信を行い、多くの方々に聖歌を届けた功績に対して贈られました。

聖歌隊によるオンライン合唱

授賞式にて(聖歌隊)

※学生会役員会と学生有志 5 名は 2020 年度卒業生が含まれていたため、すでに、2020 年 12 月 23 日(水)に表彰式が行われています。

令和 2 年度卒業生の進路状況及び
令和 3 年度卒業(修了)予定学生の就職活動について

今春の卒業生の就職決定率は 94.8%(5 月 1 日現在)となりました。雇用情勢に影響されることなく、例年高い水準を維持しています。

◇4 年次生◇

昨年度よりさらに早いペースで就職活動のピークを迎えています。筆記試験や面接の結果に一喜一憂し不安になる時期でもありますが、キャリアセンターは 5 名のスタッフと 10 名以上のキャリアカウンセラーで学生の就職活動を支えています。エントリーシート添削、面接練習、就職活動の進め方についての相談等、就職活動の様々な場面で利用できる環境を整えています。

◇3 年次生◇

就職活動の実質的な早期化への対策として、採用試験本番の対策にもつながる「夏のインターンシップ選考対策」を強化しています。

コロナ禍におけるチャット・ボットの活用

チャット・ボットと有人対応を融合
- ①自動応答　②有人対応の 2 種類
- 基本的な質問は①で対応
- 個別のケースは時間限定で②対応
  キャリアカウンセラーが直接対応

24 時間オンライン対応
- キャリアセンターの閉室期間や祝日等の休みであっても稼働

最適なアドバイスを提供
- 過去の質問内容を AI が分析。
  本学の学生に合わせた最適なアドバイスを提供

大学側の導入メリット
- ●キャリアセンターを利用していない学生も利用できる
- ●学生の動向や相談内容を把握。セミナー等に生かせた。

学生側の導入メリット
- ●24 時間いつでも相談可能。
- ●相談内容を AI が分析。均一な質のサポートを受けられる
- ●文字でのコミュニケーションは記録が残るので復習可能。

令和 2 年度卒業生の進路状況
(卒業生数 544 名)

就職決定率　94.8%
就職決定者数　431 名

進学決定者数　25 名

著名 400 社
実就職率
全国女子大
4 位

聖心女子大学での感染症感染予防の取組みについて

1 時差通学可能

時差通学ができるように、午前 7 時から大学への入構が可能で、夜間も 8 時半まで滞在可能です。公共交通機関の混雑を避けて登下校し、予習・復習・課題作成等に取組むことができるような環境を整えています。

2 サーマルカメラで健康管理

1 号館・4 号館・学寮の出入口にサーマルカメラを設置し、アラームに検知された学生、教職員は保健センターに連絡し、指示を仰ぐ体制を整えています。

3 新しい生活様式の周知

新しい生活様式での大学生活について、学生による周知活動が進められており、学生有志によって撮影された動画が、Sophie (教学システム) で発信されています。

4 消毒の徹底

全ての建物出入口、各教室の出入口等、構内各所にアルコール製剤を配備しています。

5 パーテーションの設置

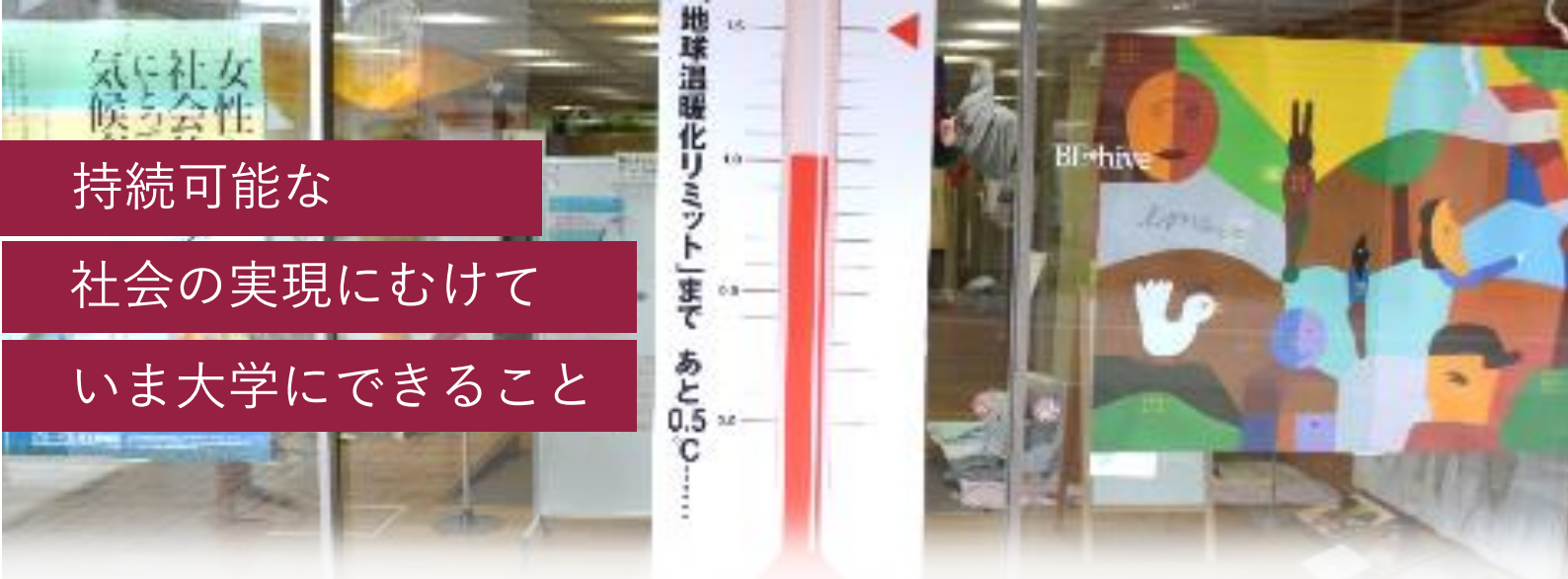
全ての教壇に飛沫防止用のパーテーションを設置し、座席も距離を保って着席する配置にしています。固定席のホールなどでも、席の間隔を空けて収容人数を削減しています。

6 換気の徹底

教室などの窓に網戸を設置し、虫除けにも配慮しながら換気を徹底しています。

7 黙食のすすめ

学生食堂内のテーブルの正面と側面に飛沫防止用のパーテーションを設置し、黙食等の注意喚起の掲示を行っています。
また、昼食時に黙食とマスク着用について放送により呼びかけを行っているほか、職員がプラカードを持って巡回し、注意を促しています。
今後は、学生自身による感染予防活動にも繋げていく予定です。



持続可能な社会の実現にむけて いま大学にできること

ゼロカーボン社会への貢献を目指す「自然エネルギー大学リーグ」に加盟

6 月 7 日(月)、脱炭素社会実現に向けて「自然エネルギー大学リーグ」が発足し、同リーグ世話人として、髙祖敏明学長が就任しました。同リーグは、代表である千葉商科大学を始め、国際基督教大学、和洋女子大学、東京外国語大学、長野県立大学、上智大学、広島大学、東京医科歯科大学および本学の 9 大学が発足メンバーとして加盟。大学における自然エネルギーの活用促進と、その取り組みを推進する人材育成を目的としています。

髙祖敏明学長によるコメント
「本学は昨年 5 月、日本の女子大学としていち早く、気候非常事態宣言を発表しました。地球に住む世界の一員として、難民問題や気候変動など SDGs を念頭に置いたグローバル共生研究所の活動、学生食堂のフードロス削減を進める取り組みなどを行っており、エコキャンパスの推進計画では LED 化、環境負荷の低い空調設備への更新、ガスのカーボンニュートラル LNG への切り替え、自然エネルギー電力の調達などによって、2025 年度までに 2019 年度比で約 650 t 、32%の CO2 削減を目指しています。」

はなはな SDGs の活動が、TOKYOFM の「サステナ＊デイズ」で紹介されました

はなはな SDG s 副部長の小林愛佳さん(哲学科 3 年)が、5 月 27 日放送の TOKYOFM「サステナ＊デイズ」に出演しました。

私自身、はなはな SDGsの活動に参加してはじめて、これまで当たり前だと思っていたことが当たり前ではないこと気づかされました。

SDG s (持続可能な開発目標)について理解を深めてもらおうと絵本を作りました。
目標項目ごとに担当者を決めて、1 冊 1 冊手作りしています。多くの学生に手に取ってもらい、SDG s を考えるきっかけにしてほしいと思っています。これからさらにM.S.S.S.の点字グループに協力してもらい点字をつける予定です。
聖心女子大学の全学生がＳＤＧｓについて理解を深められるようこれからも活動を続けていきます。

2021 年 10 月 16 日(土)・17 日(日)

第 57 回 聖心祭 ONLINE 開催決定！

本年度の第５７回聖心祭は１０月１６日（土）、１７日（日）の二日間にて全面オンラインでの開催をいたします。今回のテーマは「繋」です。新型コロナウイルスの影響により人との繋がりが薄れてしまっている今だからこそ改めて人との繋がりの大切さを実感する一年でありました。よって離れた場所からでも皆１人１人が繋がれる「繋」（きずな）が感じられる聖心祭にしたいという願いを込めてこのテーマに決定いたしました。本年度は全面オンラインでの開催ですが、オンライン上でも聖心祭にお越しいただく全ての方が楽しめる、魅力溢れる企画が沢山ございますので、是非いらしてください。聖心祭一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第５７回聖心祭実行委員会　委員長　浦山優子

BE*hive

展示「緒方貞子さんと聖心の教育」に関連して オンラインで国際シンポジウムを開催しました

緒方貞子さん 1927年9月16日、東京生まれ。聖心女子大学卒。カリフォルニア大学バークレー校にて政治学博士号取得。91年より2000年まで第8代国連難民高等弁務官として難民支援を指揮。01年より人間の安全保障委員会共同議長、アフガニスタン支援総理特別代表などを歴任。03年より12年まで独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長。享年92歳。

"マザーブリットから受けた教訓は限りない"
(『マザー・ブリット追悼録』緒方さんの寄稿文より)

本展示では、緒方貞子さんの数々の貢献と生き方について、そして学生時代を過ごした聖心の教育と初代学長マザーブリット時代を紹介いたします。本展示を通じて、緒方貞子さんが力強く示した、現代社会における地球規模の課題への関わり方が、より多くの人に深く理解され、一人ひとりの行動の変容につながっていくことを期待したいと思います。

主催:聖心女子大学 グローバル共生研究所 Sacred Heart Institute for Sustainable Futures (SHISF)

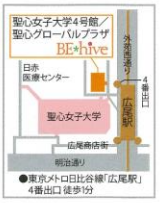
協力:日本聖心同窓会(JASH)　助成:一般社団法人　東京倶楽部

開催場所:BE*hive 展示 + ワークショップスペース

開館日・時間　月～土:10時～17時

臨時休館情報は研究所ウェブサイトでご確認ください

住所　:〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ
電話番号:03-3407-5811(大学代表)
メール　:jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp
ウェブサイト:https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/
展示の紹介動画を研究所ウェブサイトで公開します。



国際シンポジウム「緒方貞子さんの思いを受け継ぐ—アフリカと日本を結んで—」

岡崎 淑子前学長
グローバル共生研究所招聘研究員

オンライン国際シンポジウム「緒方貞子さんの思いを受け継ぐ—アフリカと日本を結んで—」が 6 月 19 日(土)に開催されました。

第一部では、緒方さんが大切にされた思い～人間の命を守ること、現場で人々の声を聴くこと、難民救済の後にも将来のための支援をすること、紛争の後には和解と許しを促す支援をすること～に焦点を当て、ルワンダで働く方々の体験についてナマの声を聴きました。

第二部では緒方さんが学んだ聖心の教育とは何だったのかを探り、次に、国際協力の現場で働く若い卒業生の仕事とこれまでの道のりについて聴き、最後に緒方さんから若い人たちへの思いを、聖心女子大学と他大学の学生たちがどう受け止めているか率直な意見を聴きました。

難民支援学生団体「SHRET」が学生食堂 La Mensa Jasmine で「母国メニュー」を発売—6 月 19 日には難民支援イベント「SHRET 祭」をオンラインで開催しました

6 月 19 日(土)の「SHRET 祭」は、「国際協力を通して私たちにできることはなにか」をテーマに、ゲストによる講演やクイズ等を実施しました。イベントには約 60 人弱が参加し、難民がおかれている現状について見識を深めるとともに、意見交換をするなど、大いに盛り上がりました。

また、難民支援のオリジナルメニューの発売期間は、7 月 5 日(月)～7 月 8 日(木)の 4 日間(12:00～15:00)を予定しています。SHRET の学生は、これをきっかけに少しでも多くの方に難民活動について興味を持ってほしいとコメントを寄せています。

メニューについては右をごご覧ください。

★La Mensa Jasmine は一般の方もご利用いただけます。

※SHRET…Sacred Heart Refugee Education Trust

緒方貞子氏が設立した難民教育基金(現在 RET International)の活動を支援するとともに、難民の子どもたちに対する中・高等教育の重要性を訴えるというビジョンのもと活動する学生団体

Menu

- ニラオムレツ(アゼルバイジャン)
  ほうれん草とニラとディルで作られたアゼルバイジャンの家庭料理。
- スカール(ソマリア)
  ラクダの肉とじゃがいもなどの野菜を細切りにして炒めたソマリアの国民食。
  (※提供メニューには豚肉を使用)

発行 聖心女子大学 〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-3-1 TEL03-3407-5811(代表) 編集 聖心女子大学 広報・社会連携部 広報課 発行 年3回(6・11・3月)
無断転載・複製を禁じます